

資格認定基準

この基準は、定款第4条第1項に規定する「幼児体育指導者資格認定試験」における合格基準を定めたものである。

1 幼児体育指導者資格

幼児体育指導者資格は次のとおりとする

- (1) プロフェッサー A・B・C・D
- (2) 1 級
- (3) 2 級
- (4) 3 級
- (5) 4 級
- (6) 5 級

2 受験資格

- (1) プロフェッサー A・B・C・D ;
1 級取得後3年以上の実務経験とサポートスタッフ経験3回以上を有する者
- (2) 1 級 ; 2 級取得し1年以上の実務経験を有する者
- (3) 2・3 級 ; 17 歳以上の者
- (4) 4・5 級 ; 15 歳以上の者

3 試験科目・合格基準

(1) プロフェッサー

A 試験 1 ; 2 級資格試験実施時に2日目実施の実技講習全項目の説明、展示、指導を行う。

試験 2 ; 1 級資格試験時にリズム運動の実技試験全項目を受験者に対し展示する。

合格基準 ; 試験員の候補者として試験時における説明、展示、指導ができる者を合格と判定する。

B 試験 ; 2 級資格試験実施時に、1 日目実施の実技講習全項目を、受験者に対し展示、指導を行う。

合格基準 ; 実技展示の巧拙、指導の適否により可否を判定する。

C・D 試験 ; 2 級資格試験実施時に、実技講習科目を受験者に展示する。

合格基準 ; 実技展示の巧拙、完成度によりC又はDと判定する。

(2) 1 級

試験科目 ; 実技

- ①リズム体操 ; 野菜レンジャー、鳴子の体操Ⅱの逆動作 (受講者に対面して行う。)
- ②マット運動 ; 前転、後転、前転・後転補助及びマット運動模擬指導
- ③跳び箱 ; 開脚とび、開脚とび補助
- ④鉄 棒 ; 前回り、逆上がり、足抜きまわり、地球回り及び前回りの前補助・後ろ補助
- ⑤ゲーム遊びの模擬指導 ; ルールの説明、演技実施の流れを適切に行う。

合格基準

- ①リズム体操；手本としてふさわしい動作ができる。合格点70点
- ②マット運動；2級の技術が洗練化されている。2級の技術を活用し指導することができる。
- ③跳び箱；2級の技術が洗練化されている。
- ④鉄棒；実技ができる。
- ⑤ゲーム遊びの模擬指導；ルールの説明ができる。演技実施の流れを適切に行う方法を身につけている。
- ⑥終了レポートの内容が適切である。

(3) 2 級

試験科目；実技

- ①リズム運動；野菜レンジャー、鳴子の体操Ⅱ
- ②マット運動；前転、後転、前転・後転補助
- ③縄跳び；前とび、後ろとび、あやとび
- ④跳び箱；1段横開脚とび、開脚とび補助

合格基準（①から④が100%到達している）

- ①リズム体操；被受講者に手本としてふさわしい動作ができる。合格点70点
- ②マット運動；前転・後転動作が基本どおりできる。前転・後転補助動作を正しくできる。
- ③縄跳び；前とび10回、後ろとび10回、あやとび10回ができる。
- ④跳び箱；正しい動作で1段横開脚とび、開脚とび補助ができる。

試験科目；学 科

講習科目である発育発達、幼児体育論の中から出題、合格点70点

(4) 3 級

試験科目；実技（2級受験者と同じ）

- ①リズム運動；野菜レンジャー、鳴子の体操Ⅱ
- ②マット運動；前転、後転、前転・後転補助
- ③縄跳び；前とび、後ろとび、あやとび
- ④跳び箱；1段横開脚とび、開脚とび補助

合格基準（①④が70%以上到達。ただし、補助操作は100%到達）

- ①リズム体操；被受講者に手本としてふさわしい動作ができる。
合格点70点
- ②マット運動；前転・後転動作が基本どおりできる。前転・後転補助動作を正しくできる。
- ③縄跳び；前とび10回、後ろとび10回、あやとび10回ができる。

④跳び箱；正しい動作で1段横開脚とび、開脚とび補助ができる。

試験科目；学 科（2級受験者と同じ）

講習科目である発育発達、幼児体育論の中から出題、合格点70点

(5) 4 級

試験科目；学 科

講習科目である発育発達、幼児体育論の中から出題、合格点85点

(6) 5 級

試験科目；学 科

講習科目である発育発達、幼児体育論の中から出題、合格点60～84点

以 上